ホームルーム活動（交通安全ＬＨ）指導案

令和３年５月１０日（月）

高知県立○○高等学校

１年　生徒○○名　授業者　○○　○○

１　題材

　命を守るヘルメット！　～ヘルメット着用を通して自分自身の交通安全行動を振り返る～

　（２）適応と成長及び健康安全

ケ　生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立

２　題材について

（１）生徒の実態　省略

（２）題材設定の理由

自転車は高校生にとって身近な乗り物である。簡単な移動手段の一つとして、利用頻度は高い。高校生の交通事故は、県内の自転車事故の約６割を占め、さらに約９割には違反行為がある。こうした背景には、道路交通法や高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の理解が不十分であることが窺える。また、登下校時に最も交通事故が発生していることや違反行為が多いことから自転車乗車時のヘルメット着用や安全行動について考えさせたい。自らの命を守る選択ができるよう、日頃からの自分自身の安全行動や、自分たちでできる安全な社会づくりに主体的かつ積極的に参加・参画しようとする心構えと実践力を養う契機としたい。

３　特別活動の〔ホームルーム活動〕（２）「適応と成長及び健康安全」の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 | 集団や社会の形成者としての  思考・判断・表現 | よりよい生活を築くための  知識・技能 |
| 自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。 | 日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 | 集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。 |

４　事前の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 生徒の活動 | 指導上の留意点 | 目指す生徒の姿と評価方法 |
| ・Traffic Safety Newsを読む。 | ヘルメットに関する記事を読み、自分事として考えさせる。 | 【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】  交通安全に対する自己の意識や知識の現状を真剣に受け止めている。（観察） |

５　本時のねらい

　　　自転車乗車時のヘルメット着用を通して、自らの安全行動について考えることができる。

６　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 活動の内容 | 指導上の留意点 | 目指す生徒の姿と  評価方法等 |
| 導入１５分 | 1. 県内の高校生のヘルメット着用風景の提示 2. 本時の説明 3. 学校の交通安全上の課題や交通安全推進委員の取組から、本校の課題を考える。 4. 県内の交通事故の現状を理解する。 | ・県内の高校生がヘルメットを着用している様子を見て、どう思うか２～３名に聞く。  ・ヘルメット着用について、率直な意見が出るように趣旨の説明を行う。  ・学校の実態やアンケート結果、交通安全推進委員の取組からなぜヘルメット着用が進まないのか（課題）を投げかける。  ・県警やスポーツ振興センターの事例から県内の高校生の交通事故の要因や損傷部位などを説明し、交通事故の現状を理解させる。（頭部の損傷、自転車事故の９割が違反行為など） |  |
| 展開６０分 | 1. ＤＶＤを視聴する。 2. ヘルメット着用の重要性について考える。 3. 自転車条例について理解する。 4. ヘルメットの着用の必要性について考え、グルール内で意見をまとめ、発表する。（質問①～⑤）   ①自転車乗車時にヘルメット着用は必要ですか？不要ですか？  ②みんなぁでかぶろうや！学生や大人が自転車乗車時にヘルメットを被るためにはどうすればよいと思いますか？  ③みんなぁでかぶろうや！ヘルメット着用を世の中に広めるためには、何が効果的だと思いますか？どうすれば着用が進むと思いますか？ | ・命を守るヘルメット！講演会の映像から、ヘルメット着用の重要性について、考えさせる。  ・ＤＶＤを見た感想を２～３名に聞く。  ・自転車条例の内容について、説明する。  ・ヘルメット着用の必要性について、考えさせる。  ・４～５人でグループを作り、①～⑤について、自分の考えを述べさせ、共有させる。  ・各グループで意見をまとめさせる。  ・まとめた意見を記録用紙に記録し、代表者に発表させる。  ○社会全体の取組として、制度や法令遵守などについても考えさせる。 |  |
| まとめ  １５分 | ④あなたはどうすればヘルメットを被りますか？  ⑤今から自分にできること、やっていこうと思うことをまとめましょう。   1. 各グループの発表を聞いて、今から自分にできることを決める。 | ○交通安全行動を自分事として考え、今、自分ができることを決めさせる。（自己決定）  ※作業が進んでいない生徒には、教員が助言する。  [振り返り]  必要な知識を身に付け、自らが命を守る安全行動を取ることができるように、帰宅後は条例の趣旨やヘルメット着用について、家族で話し合う場を設定させる。 | 【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】  ヘルメットの着用について、自分事として捉え、自分たちにできることを考えている。  （発言・振り返りシートへの記述） |

７　事後の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 生徒の活動 | 指導上の留意点 | 目指す生徒の姿と評価方法 |
| 自己決定したことを実践できているかを振り返る。 | ＳＨなどを利用し、相互の実践を確認し合う場を設け、実践意欲の継続化を図る。  ・交通安全教室や街頭啓発、生徒会活動や部活動等で実践を確認する機会の場の設定  ・ホーム通信や学校通信、ＨＰ等での情報発信 | 【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】  自分のこととして捉え、よりよい取り組みについて真剣に考え、判断し、実践している。（振り返りシートへの記述・発言の点検） |